

野生獣被害対策や家畜の放牧において 「電気柵」を利用する場合の注意

電気柵を利用する場合、次の事項を再度ご確認ください。



- ①「電気柵用電源装置(=電牧器)」を利用し、コンセントから直接電気を供給しないでください。
- ②パドックなどで、コンセント+電牧器を利用する場合には「(高速型)漏電遮断機」を使用してください。
- ③周囲の人が容易に視認できる位置や間隔、見やすい文字で危険表示板の設置をしてください。

<平成 27 年度 県央圏地域リーダー育成塾のお知らせ>

盛岡広域管内の農業担い手として、経営感覚を持ち、自らの判断で実需者ニーズに対応できる農業経営体を育成するとともに、集落営農組織の法人化を促進することを目的として研修会を開催します。

■対象：集落営農組織(法人、任意組織)の代表者等(候補者を含む)

回	日時	内容	場所	講師等
第 2 回	8/19 (水) 13:30~16:30	組織における人材の確保と労務管理について	都南公民館	社会保険労務士 横山 信英氏 (農)宮守川上流生産組合
第 3 回	8/27 (木) 10:00~16:00	法人化、法人の財務管理、税務管理について	ふれあいランド岩手	農業経営コンサルタント・税理士 森 剛一氏

* 第 1 回は 7/22 に実施済み

* 集落営農の法人化支援の内容で別途 11 月頃にも研修会を予定しています。

■申込締切：開催の 1 週間前まで ■申込先：八幡平農業改良普及センター(担当 中森)

<岩手県農業研究センター参観デーのお知らせ>

公所	日時	場所	内容	その他
県北農業研究所	9/4(金)~5(土) 9:00~15:00	県北農業研究所 (軽米町大字山内 23-9-1)	・ほうれんそうセミナー・畑地かんがい実演会(9/4) ・農産物販売・雑穀商品紹介	
畜産研究所	8/28(金)~30(日) 9:00~16:00 (最終日 15:00 まで)	岩手産業文化センターアピオ (滝沢市砂込 389-20)	・畜産技術の紹介 ・相談窓口の開設	【同時開催】第 70 回岩手県全国農業機械実演展示会

* 本センター(北上市)も別途開催されます(9/4のみ)

根切り機によるほうれんそうの収穫作業事例

ほうれんそうの生産現場で、最も労力がかかるのは収穫・調整作業です。この作業にかかる労力を軽減できれば、一層の規模拡大も夢ではありません。

八幡平市の若手生産者の一人である高橋政孝さんは、ほうれんそうの収穫のために根切り機を導入しました。八幡平市では既に2名のほうれんそう生産者がこのような機械を活用していますが、政孝さんは今年度使い始めたばかりです。

当普及センターは、中央農業改良普及センターと共同で、政孝さんの機械稼働状況を7月17日に調査しました。当日の作業は、政孝さんが機械を操作してほうれんそうの根を切断し、3人の作業者がこれを拾い上げてコンテナに詰めるという流れです。この方法により、50坪のハウス1棟の収穫作業を約90分という短時間で終了しました。

一方で、機械を使いこなすためには、生育を均一に揃える技術や土の硬さなどの課題もあります。これらの課題解決に向けて、普及センターも生産者とともに考え支援していきます。



根切り機の稼働状況

安代いんどう、全国に向けて出発！

7月14日、JA新しいわて八幡平エリアりんどう出発式が行われました。

今年の安代りんどうは、これまでで最も早い5月23日から出荷が始まりました。

ただ今、8月盆需要期向けの出荷がピークを迎え、8月上旬には日量8,000ケース程が市場に届けられる予定です。



テープカット後、トラックが出発

管内の水稲生育状況と今後の水管理について

管内の水稲は、平年と比較して草丈はやや短いものの、茎数は十分確保されています。「かけはし」は、平年よりやや早めの7月下旬に出穂が始まりましたが、「いわてっこ」「あきたこまち」は、ほぼ平年並みの出穂が予想されます。

出穂・開花期間中は水を多く必要とする時期です。土壌水分が不足しないよう、水を切らさないようにしましょう(浅水管理で可)。

新品種「岩手107号」 生育状況



7月23日現在、順調に生育しており、「あきたこまち」と比較して、草丈はやや長く、茎数・葉齢は並みとなっています。

また、減数分裂期に到達したのを確認しましたので、8月上旬に出穂するとみられます。



あきたこまち



岩手107号